

AIS 社が IBM Rational DOORS、IBM Rational Change、そして、IBM Rational Synergy を利用して急速なサービスの成長と複雑さを管理

概要

■ 課題

AIS は、そのリーダーとしてのポジションを維持するために、新しいワイヤレス製品とサービスを短期間で開発し、市場に出荷する必要がありました。

■ ソリューション

AIS は IBM Rational ソリューションを選択しました。これには、開発要求を管理して追跡する IBM® Rational® DOORS® と、開発ライフサイクルを合理化し、管理と自動化する IBM Rational Synergy と IBM Rational Change が含まれます。

■ 主なメリット

現在、AIS は拡大するビジネス・ニーズに合わせたサービスを効率的に定義、開発、展開できるようになりました。ソリューション・フレームワークは、チームのリード・タイムに対するオーバーヘッドを削減し、開発期間を短縮するとともに、新製品のリリース間隔を短縮するために役立っています。



競合環境

Advanced Info Service Public Company Limited (AIS) は、タイ最大のワイヤレス・サービス・プロバイダーとして 1,500 万人のタイ国内のお客様に携帯電話、デジタル携帯サービスや、関連するその他のサービスを提供しています。このような活力ある企業には急成長が期待されますが、一方、そのソリューションがお客様の要求に追いつけなければ成長を維持するのは困難です。

イノベーションの行き詰まり

AIS は、競争が激しいタイの携帯電話市場におけるイノベーションの要求に応えるために、新しいサービスと製品のプロトタイプ開発、展開を担うチームを編成しましたが、旧式でほとんど管理されていないシステム開発ライフサイクルは、イノベーションを実行しようとするチームの足を引っ張りました。「私たちは、スタッフ、プロセス、テクノロジーの統合を進めなければ、目標を達成することはできないと認識しました」と語るのは、AIS のインフラストラクチャー設計マネージャーの Arakin Rakchitapoke 氏です。

さらに、AIS は、従業員が頻繁に転職してしまうことや開発を外注する必要があることを課題としていました。どちらも、知識の蓄積、伝達、組織的な学習にマイナスの影響を与えます。

スケジュールに従って定義し提供されるサービス

Rakchitapoke 氏は、彼のチームが革新的な製品やサービスを旧式のシステム開発ライフサイクルで開発する際に直面する難しい問題を認識しました。これを解決するために、彼は、要求管理、変更管理、構成管理などのシステム開発のプロセスを改善する取り組みを開始しました。

いくつかのベンダーのアプリケーション・ライフサイクル管理製品を検討した結果、AIS はプロセスを自動化するために IBM Rational DOORS、IBM Rational Change、および IBM Rational Synergy を選択しました。「IBM 製品には、私たちが必要としていた、リソースを目的に合わせて調整する機能がありました」と Rakchitapoke 氏は語ります。

「成長は、明確なプロセスと実績のあるテクノロジーでコントロールする必要があります。IBM ソリューションは、成長と複雑さの管理のために役立ちました」

- Arakin Rakchitapoke 氏、インフラストラクチャー設計マネージャー、AIS

主なコンポーネント・ソフトウェア

- IBM Rational Change
- IBM Rational DOORS
- IBM Rational Synergy

現在、要求変更に関する影響分析の 実行 は Rational DOORS アプリケーション内で自動化されています。Rational Change と統合することで、チームは Rational DOORS 内の設計要求に対して、実装の要求を実行依頼できるようになります。製品に対する要求は、サブシステムで整理されて Rational DOORS 内に知識ベースで維持管理され、追跡できます。「DOORS を使用して、今ではすべてのプロジェクト情報と製品情報の追跡やアクセスが可能な単一のリポジトリができました。現在は、実装状況がリアルタイムで表示されます」と、Narthphypan 氏は語ります。

これらのツールを統合ソリューションとして使用することで、サービスや製品がスケジュールどおりに定義、開発、展

開されることが、視覚的にわかりやすくなりました。さらに、利用しやすいプロジェクト情報によってより確実に把握できるようになりました。その結果、チームは、開発ライフサイクル内で指定された役割と責任を果たす結束したユニットとして機能するようになりました。Rakchitapoke 氏は語ります。「IBM Rational DOORS と Rational Synergy はしっかりと統合されているので、プロジェクトを監査して要求に準拠していることを示すことが可能になりました。

Synergy は、独自の概念に基づくライフサイクル主導でタスク・ベースの構成管理により、ソフトウェアのリリースとビルドを効率的かつ確実に管理するために役立ちます。今では、ファイル・レベルではなく、タスク・レベルでリリースとビルドを管理できます」

イノベーション、効率、成長に完全に対応

チームは驚異的な成功を収めました。従業員の転職も減り、最近4年

間でサービスは著しく増加しています。

Rakchitapoke 氏は語ります。「非常に急速な成長は、明確なプロセスと実績のあるテクノロジーでコントロールする必要があります。IBM ソリューションは、私たちの成長と複雑さを管理するために役立っています」

AIS のビジネスが拡大を続けても、それに合わせて、コストの削減と開発期間の短縮のためにソフトウェア・エンジニアリング・アプローチとコラボレーティブな開発方法を進化させることができます。すなわち、企業の変化するビジネス・ニーズに継続的に対応できます。

Rakchitapoke 氏は語ります。「IBM ソリューションは、従業員の効率を高め、管理や監査を視覚的にわかりやすくします。最も重要なことは、お客様の基盤やビジネスをより拡張させるという私たちの目標の達成に、IBM ソリューションが役立つことです」

Rational Systems の製品情報は
下記のWebサイト(英語)をご覧ください。
www.telelogic.co.jp

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員、
または、ダイヤルIBM (☎0120-04-1992)へ。

受付時間:月～金9:00～18:00(祝日、12/30～1/3を除く)
フリーダイヤルをご利用いただけないお客様は下記の電話番号をご利用ください。
ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合、通話料金はお客様のご負担となります。)

- * IBM, IBMロゴ, ibm.com, Rational, および DOORS, Rhapsody, Focal Pointは、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標。
- * 他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。
- * 現時点でのIBMの商標リストについては、下記をご覧ください。
www.ibm.com/legal/copytrade.shtml 「Copyright and trademark information」(英語)



日本アイビーエム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21
07-09 Printed in Japan

- このカタログの情報は2009年7月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。
- 記載のデータはIBM社内の調査に基づくものであり、全ての場合において同等の効果を得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境その他の要因によって異なります。●製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。